

平成11年3月

新型「POSレジスター」の導入について

株式会社セブン・イレブン・ジャパンは、平成11年3月より全店に、新型のPOSレジスターを導入致します。これまで、「第5次総合情報システム」として96年より全面的なシステム再構築を推進し、中核となる「店舗システム」(97年11月～98年4月)をはじめ、「ネットワークシステム」(96年11月～97年4月)、「発注・物流・取引先システム」(96年11月～98年6月)、「グループウェアシステム」(97年5月)、「マルチメディア情報発信システム」(97年6月)、「POS情報システム」(98年9月)を導入してまいりました。今回の新型POSレジスター導入により、投資総額600億円となる「第5次総合情報システム」の導入がすべて完了することになります。株式会社セブン・イレブン・ジャパンは、今回の新型POSレジスター導入により顧客へのサービスレベルの向上、店舗運営の効率化支援の一層の強化を図ると共に、世界でも最大規模のネットワークを活用し、新規ビジネスなど将来の業務拡大に向けた対応を図ってまいります。

1. 開発の目的

- マルチメディア情報を活用して、顧客への情報提供や、イベント・キャンペーンの告知、フレンドリーサービスの向上を支援する。精算機能中心から情報機能中心のPOSレジスターへ。
- 操作性や業務効率の向上のみならず、マルチメディア情報(動画、静止画等)の活用により、接客に関する教育、ファスト・フード等の取扱い説明等、サービスレベル向上のための総合的システムを支援を強化する。
- WindowsNTベースのオープンアーキテクチャーでのPOSレジスター開発により、ストアコンピュータ等とのマルチメディアデータの共有、将来の業務拡大に向けた拡張性、柔軟性の向上を図る。

メーカー	東芝テック株式会社
OS	WindowsNT4.0
CPU	ペンティアムII266MHz,64bit
メモリ	128MB
画面	TFT液晶画面×2(最大の画面サイズ、初の動画表示機能を持つPOSレジスター)

2. 概要と特徴

① 顧客サービスの向上

(1) プロモーション情報の提供

- ・お客様側の画面において、各種情報・メッセージを動画・静止画等で提供（催事・イベント・キャンペーン情報、新規商品情報、サービス業務紹介情報等）
- ・同一情報をレジ操作者も参照して、声掛けや、サービスの徹底等フレンドリーな対応の向上を図る

(2) レシートへの情報印字

お客様にお渡しするレシートにキャンペーン情報等をイメージ印字

② 店舗運営の効率化支援

(1) 操作性の向上

操作側の両面にタッチパネルを採用し、ビジュアルで判り易い画面表示により操作性の向上を実現

(2) 情報共有の促進

ストアコンピュータの各種情報をPOSレジスターでも参照可能とする事により、接客サービスの向上や営業情報の共有化を促進する。（店舗業務のスケジュール確認、催事・キャンペーン情報、天気情報等）

(3) 省スペース化

横幅6cmの小型化を図ることにより、カウンターの有効活用を促進

③ 将来の業務拡大に向けての対応等

(1) カード販売の券種の拡充

新型カード発券機の開発により、テレホンカード等の券種を20券種に拡充（従来10券種）

(2) 新しい決済、サービスへの対応

デビットカードサービスの実施、各種カードアプリケーションへの対応

3. 導入時期 平成11年3月1日～平成11年6月末

4. 機器構成



《お客様側》



《操作者側》